

つちおと

令和元年12月16日発行
宮城復興局気仙沼支所
気仙沼市笹が陣3-5
気仙沼市シルバー人材センター内



安倍 田中
総理大臣 復興大臣
菅家
復興副大臣

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館にて
階上中学校生との意見交換

安倍総理大臣・田中復興大臣・菅家復興副大臣 が気仙沼市・南三陸町を訪問



復興グルメF-1大会
in 南三陸町にて

11月24日、安倍総理とともに9月に就任した田中復興大臣、菅家復興副大臣が気仙沼市と南三陸町を訪問しました。気仙沼市では、東日本大震災遺構・伝承館にて階上中学校生から東日本大震災の説明を受けたあと、意見交換を行い、語り継ぐことの大切さが再認識されました。また、みらい造船では、9月に完成した新工場や同造船所にて建造された最新の遠洋マグロはえ縄漁船を視察しました。南三陸町では、復興グルメF-1大会を訪れ、参加店舗を回りながらお話を伺い、各地域の地場産を食材としたグルメを味わいました。



菅家 田中 安倍 赤羽
復興副大臣 復興大臣 総理大臣 国土交通大臣

みらい造船にて
関係者などの皆様と

9/28 鹿折区画整理事業竣工

～ まち再生の出発点 ～

9月28日、気仙沼市内の4地区で進められている土地区画整理事業のうち、最初の完成となる鹿折地区で竣工式が行われ、参加した地域や関係者の方々が祝福しました。

同地区では42haのうち、沿岸部の低地ゾーンを海拔1.8m以上、住宅地となる盛り土嵩上げゾーンを海拔3m以上に造成しました。区画は全部で547区画あり、総事業費は248億円です。これからのまちづくりが期待されます。



復興祈念公園の工事着手

～ “気仙沼”に触れる鎮魂と祈りの場～

11月1日、陣山に整備予定の復興祈念公園の造成工事が着手されました。安全祈願祭に参列した関係者約50人により無事故・無災害が祈られました。整備費用は約5億5千万円で一部に寄附金やクラウドファンディングで集めた資金が充てられました。



式典後に陣山に上り、気仙沼市を臨む参列者

10/29 気仙沼おとこの栄養教室!!

～ 楽しくクッキング♪～



栄養士に教わり、慣れないながらも楽しそうに包丁を握る参加者

(魚町入沢コミュニティセンターにて)



10月29日、市主催による「おとこの栄養教室」が開催され、災害公営住宅の男性住民5名が社協職員等の協力の下、具だくさんの山形風芋煮や胡瓜のなめたけ和え、おにぎりを作りました。料理に初めて挑戦する人もいて、笑いの中にも真剣な顔で取り組んでいました。男性の参加を促す本イベントでは、男性同士の小さな交流も生まれていました。

進む震災復興【気仙沼大島ウェルカム・ターミナル】

～ 持続的な交流と循環を創出し、大島の魅力を次代につなぐ拠点 ～

気仙沼市大島は、「みどりの真珠」と称され、小田の浜や田中浜、亀山、龍舞崎など豊かな自然を有し、震災前は年間30万人近い観光客が訪れた三陸沿岸地域の重要な観光拠点のひとつでした。また、震災後の平成25年に宮城県で唯一認定された三陸復興国立公園及び三陸ジオパークにも含まれます。そして、気仙沼市本土と大島を結ぶ気仙沼大島大橋が本年4月7日に開通し、観光拠点としての重要性が更に増しているところです。

本事業箇所である大島浦の浜地区は、大島の玄関口としてにぎわい、商店街や観光案内所、産地直売所などが立地していましたが、震災により壊滅的な被害を受け、震災後は仮設営業の売店や飲食店が数軒営業するに止まっておりました。本事業は、浦の浜地区の商店街機能の再生を図ることで地域を活性化するとともに、観光交流スペース(産直、コミュニティ機能、駐車場等)を整備し恵まれた地域の農産物や海産物の販売を通じ、交流人口の拡大と地域経済の好循環を生み出していくことなどを目的としています。気仙沼大島ウェルカム・ターミナル施設は、床面積約470㎡の木造平屋建てで、県が整備する防潮堤の背後地を盛土して建設されます。施設内には、地場産品を販売するスペースや観光案内所、休憩や催事など多目的に利用できるスペース、浦の浜湾を眺められるテラスなどを配置し、周辺には約100台分の駐車場と屋外トイレも整備されます。総事業費は約6.6億円で、平成29年度より復興交付金を活用し、市の復興事業の目玉の一つとして整備が進められ、令和元年度内の供用を目指し工事が進捗中です。また、同じ敷地内には、地元の事業者が立ち上げた観光集客施設「野杜海(のどか)」が本年

7月26日に先行オープンし、にぎわいを取り戻しつつあります。事業担当の気仙沼市産業部商工課からは「整備が気仙沼大島大橋の供用に間に合わず、皆様にはご迷惑とご心配をお掛けしてきたが、ようやく供用時期が見えてきた。これまで携わってきた全ての方々に感謝したい。最後まで安全に工事を進めるとともに、気仙沼大島ウェルカム・ターミナルが、大島の元気を創り、発信する拠点として、多くの皆様に親しまれ、関わっていただける場所になっていくことを願っています。」とのお話をいただきました。



気仙沼大島ウェルカム・ターミナル 施設

商業施設「野杜海(のどか)」

完成
イメージ

◆支所長コラム

朝晩の冷え込みが一層厳しくなり冬本番の到来を感じる時期となってきました。4月に着任し早9ヶ月、月日の流れは早くもう師走の時期となりました。令和元年となった本年も台風等災害発生も多く、近年は洪水や暴風、地震、津波といった今までの経験を超える規模の災害が当たり前のよう発生する状況にあります。今回の台風19号も過去最強クラスの勢力で広い範囲で河川の氾濫や決壊が相次ぎ、大規模浸水など大きな被害がでました。被害にあわれた方々へ心よりお見舞い申し上げますとともに地域の1日も早い復旧を願います。今年の新語・流行語大賞は、「ONE TEAM」が受賞し、ラグビーワールドカップでは日本中が歓喜に溢れました。今回の台風により残念ながら「ナミビア対カナダ」戦が中止となりましたが、東日本大震災で被災した東北釜石でW杯初戦が行われ、甚大な被害を受けた地が復興した姿を世界に届けられたと感じました。また、私事ですが娘と「松島ハーフマラソン大会」に出場しました。松島湾域を走る高低差があるコースで、震災遺構となっているJR旧野蒜駅ホームそして地域の象徴ともいえる野蒜駅の周辺を走るコースでした。地域の皆さんからの声援もすごく復興に向けて取り組む地域の元気を力になんとか完走することができました。スポーツを通じ震災からの復興を肌で感じることができます。皆さんも参加してみてください。(高信)

復興関連イベント

各地で開催される復興イベントをご紹介します。

【12月29日(日)】志津川湾おすばでまつり復興市

毎年恒例の一大イベントおすばでまつりが、志津川仮設魚市場特設会場で今年も開催されます(8:00~12:00)【おすばで】とは、【酒の肴】の意味で、お正月に欠かせない海産物や農産品など南三陸の特産品が販売されます。



気仙沼湾横断橋(仮称)
ができてきたよ~



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

復興庁HP (<http://www.reconstruction.go.jp/>) ⇒ 宮城復興局 ⇒ 気仙沼支所だより「つちおと」

【編集後記】

◆夏の時には暑い!! と思っていたのですが、今はとてつもなく寒いですね。

「つちおと」発行元(お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301、FAX 0226-23-5310